

1 経済日誌

2018年12月～2019年3月

全 国		和歌山・大阪	
12月13日	「いざなぎ」 超え認定 内閣府は、2012年12月を起点とする景気回復の長さが2017年9月時点で高度経済成長期の「いざなぎ景気」を超えたと発表した。景気回復の長さは戦後2番目となる。	1月7日	和歌山県産ミカン産出額 1位 和歌山県は、2017年産ミカンの産出額が27億円増の335億円となり、3年連続で全国1位となったと発表した。また、果実産出額は、15年ぶりに日本一となった。
12月30日	TPP 発効 日本や豪州など11カ国が参加する環太平洋経済連携協定（TPP）が発効し、関税の撤廃・削減や投資の自由化、知的財産の保護などの高水準のルールを掲げる経済圏が誕生した。	1月28日	関西の訪日消費 過去最高 1.2兆円 日本銀行大阪支店は、関西2府4県を訪れた外国人観光客による2017年度の消費額（推計値）が、前年度比18.1%増の1兆2566億円と過去最高を更新したと発表した。
1月16日	訪日客数 3119万人 観光庁は、2018年の訪日外国人旅行者数が前年比8.7%増の3119万人、訪日客の消費額は2.0%増の4兆5064億円といずれも過去最高を更新したと発表した。	1月30日	大阪万博 運営組織発足 2025年に大阪で開催する国際博覧会（大阪・関西万博）の運営組織となる一般社団法人「日本国際博覧会協会」の設立総会が開かれた。
1月23日	貿易収支 3年ぶり赤字 財務省が発表した2018年の貿易統計速報によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は1兆2033億円の赤字だった。原油価格上昇で輸入の伸びが輸出を上回ったことが要因となり、赤字は3年ぶり。	2月7日	再生医療拠点の優先交渉者を選定 大阪市は、大阪・中之島に最先端医療の研究・開発施設を整備する「未来医療国際拠点」構想の優先交渉者に日本生命保険を中心とする3社連合を選定したと発表した。
2月1日	日欧 EPA が発効 日本と欧州連合（EU）の経済連携協定（EPA）が発効し、世界の国内総生産（GDP）の3割弱、世界貿易額の4割弱を占める世界最大級の自由貿易圏が誕生した。	2月8日	白浜地域観光客 7年連続 300万人台 白浜町は、2018年に白浜地域（白浜・椿温泉）を訪れた宿泊と日帰りの観光客数が前年比0.9%増の334万人となり、7年連続で300万人台になったと発表した。
2月1日	求人倍率 1.61倍に上昇 厚生労働省が発表した2018年平均の有効求人倍率は、1.61倍と前年比で0.11ポイント上昇し、過去2番目に高い水準となった。	2月12日	大阪 IR 基本構想案を公表 大阪府・大阪市は、夢洲に誘致を目指すカジノを含む統合型リゾート（IR）の基本構想案をまとめ、国際会議などの「MICE施設」を国内最大とする方針を公表した。
2月8日	経常黒字 4年ぶり減少 財務省が発表した2018年の国際収支速報によると、経常収支は19兆932億円の黒字だった。前年比13.0%の減少となり、4年ぶりに前年を下回った。	2月15日	和歌山県内初 日本農業遺産認定 農林水産省は、海南市下津のミカン貯蔵技術「下津蔵出しみかんシステム」を日本農業遺産に認定した。日本農業遺産の認定は、県内で初。
3月8日	ゆうちょ限度額 倍増を閣議決定 政府は閣議で、ゆうちょ銀行が扱う貯金の預入限度額を現在の2倍となる2600万円に拡大する政令を決めた。4月1日に施行する。	2月28日	大阪府の宿泊者数 全国 2位 観光庁は、2018年の宿泊旅行統計（速報）を発表した。大阪府内での延べ宿泊者は前年比7.7%増の約3576万人となり、初めて東京都に次ぐ2位に浮上した。
3月19日	地方住宅地 27年ぶり上昇 国土交通省は2019年の公示地価（1月1日時点）を発表した。東京、大阪、名古屋を除く地方圏の住宅地平均地価は前年比0.2%上昇し、27年ぶりに上昇に転じた。	3月1日	関西電力、海南火力を廃止 関西電力は、海南市にある石油火力の海南発電所を4月1日に廃止すると発表した。同社の火力発電所の廃止は、2006年の高砂発電所を廃止して以来、13年ぶり。

2 地域開発のうごき

2018年12月～2019年3月

和歌山県内

12月16日 青少年国際交流センターがオープン

和歌山市加太の「少年自然の家」が全面改修され、生涯学習と国際交流の新しい施設「青少年国際交流センター」としてリニューアルオープンした。

12月19日 すさみ町 ホテル建設で貸借契約

すさみ町江住にホテル建設を計画している「マリオット・インターナショナル」と「積水ハウス」は、建設地を所有する同町と賃貸借契約を結んだ。7階建てホテルを2020年冬にオープンする予定。

1月7日 新宮市庁舎別館が開設

新宮市庁舎別館の耐震補強・改修工事が完了し、オープンした。約300人収容できる大会議室を市民に貸し出すほか、災害時の主要な避難施設としても活用される。

1月17日 田辺市の新武道館が起工

田辺市が整備を進めている新武道館の起工式が、建設予定地の扇ヶ浜公園で行われた。新武道館は3階建てで、顕彰や観光、防災の機能を兼ね備えた施設。

1月29日 南紀白浜空港隣に太陽光発電所

南紀白浜空港の滑走路に隣接する県有地を活用した大規模太陽光発電所「南紀白浜ソーラーウェイ」の完成式が行われた。太陽光パネル約1万4300枚を設置、計画出力は約2.5メガワット。

2月12日 NTN紀南製作所が工場を増設

和歌山県は、NTN紀南製作所が上富田企業団地内に第3工場を増設するにあたり、3月8日に進出協定を締結すると発表した。建物、設備投資額は約20億円、2019年度中の操業を予定。

2月25日 ICTオフィスが完成

田辺市上秋津の体験型施設「秋津野ガルテン」でICT（情報通信技術）オフィスの完成式が行われた。ICTを活用したスマート農業の振興や交流人口の発掘などで地域の活性化を目指す。

3月10日 「和歌山南スマートインターチェンジ」が開通

ETC車両限定の「和歌山南スマートインターチェンジ（IC）」が阪和自動車道に完成し、現地で開通式が行われた。スマートICの設置は県内で初めて。

3月24日 町防災センターが完成

すさみ町の防災拠点となる「町防災センター」（すさみ町周参見）が紀勢自動車道・すさみインター北側の高台に完成し、完成式が行われた。

3月26日 民間ロケット発射場 建設決定

キャノン電子、清水建設などが出資する「スペースワン」は、本州最南端の串本町にロケット発射場を建設すると発表した。国内初の民間ロケット発射場で、2021年度中の打ち上げを目指す。

3 地域開発のうごき

2018年12月～2019年3月

大阪府内

12月10日 咲洲庁舎内ホテルが開業

大阪府の咲洲庁舎のビルに、2019年1月末、「さきしまコスモタワーホテル」が開業するにあたり内覧会を開催した。府によると都道府県の庁舎内にホテルが入るのは全国で初めて。

12月20日 大阪メトロ 地下空間を大規模改革

大阪メトロは、御堂筋線と中央線の15駅の大規模改修に2024年度までに300億円を投資すると発表した。また、中央線は、295億円を投じて車両の追加を行う。

12月20日 夢洲にタワービル

大阪メトロは、2025年国際博覧会会場となる夢洲に、新駅と商業施設が一体化した高さ275メートル規模の「(仮称)夢洲駅タワービル」を2024年までに建設する方針を発表した。

1月29日 ライフ向け物流拠点稼働

関電不動産開発が開発した、「ライフ大阪平林総合物流センター」が本格稼働した。物流施設は、関電の発電所跡に開発し2018年10月に竣工、延べ床面積は約6万4千平方メートル。

2月4日 スーパー併設ホテルを開業

ジェイアール西日本デイリーサービスネットは、大阪市西区において宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」を7月1日に開業すると発表した。1、2階にスーパーを併設し、客室数は224室。

2月13日 「フェニーチェ堺」グランドオープン

堺市は、芸術文化の殿堂となる「フェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）」が2月20日に竣工し、10月1日にグランドオープンすると発表した。

3月12日 淀屋橋に高層オフィスビル

日本生命保険は、日本生命淀屋橋ビルを新たに建て替える計画を発表した。2022年10月の竣工を計画し、高さ123メートルと淀屋橋エリアのオフィスビルとしては最も高くなる予定。

3月14日 大阪市北区に西日本最大級ホテルを計画

アパホテルを展開するアパグループは、大阪市北区曽根崎に西日本最大規模となる客室1500室超のホテルを建設すると発表した。地上31階建て、2022年末の開業を予定している。

3月16日 JRおおさか東線 全線開業

JR西日本は、大阪府東部を南北に結ぶおおさか東線（新大阪駅－久宝寺駅20.3キロ）を全線開業した。全線で1日約10万人の利用を見込んでいる。

3月19日 大阪モノレール南伸8.9キロ許可

国土交通省は、大阪モノレールを門真市駅（門真市）から東大阪市まで南へ8.9キロ延伸する事業を許可した。2029年の開業を目指す。

4 関西国際空港

2018年12月～2019年3月

関西国際空港

12月5日 関空－杭州線を新規就航

関西エアポートは、中国国際航空が関空－杭州線を2月1日から週4便で新規就航すると発表した。これにより同社の関空発着路線は上海、北京、天津、成都に続き5路線目となる。

12月10日 関西エアポート 2018年度 中間連結決算は増収減益

関西エアポートは、2018年度中間連結決算を発表した。営業収益は前年同期比6%増加し1049億円となったが、当期純利益は台風被害により23%減少し114億円となった。

12月19日 関空－高知線を就航

ジェットスター・ジャパンは、関空－高知線をデイリー便で就航した。LCCが高知へ乗り入れるのは初めてで、同社の国内就航地は14都市となった。

1月8日 関空－深圳線を就航

海南航空は、関空－深圳線を2月2日から週3便で就航すると発表した。同線は、現在、中国南方航空が週5便、深圳航空がデイリー便で就航している。

1月25日 関空旅客 最高の2894万人

関西エアポートは、2018年の関空の総旅客数が前年比3%増の2894万人と年間で過去最高を更新したと発表した。国際線の旅客数も、前年比6%増の2243万人で過去最高となった。

2月13日 関空－バンコク（ドンムアン）線を新規就航

関西エアポートは、タイ・ライオン・エアが関空－バンコク（ドンムアン）線を3月28日から週5便で新規就航すると発表した。同社の関空への就航は今回が初めて。

2月22日 関空－海口線を新規就航

関西エアポートは、海南航空が関空－海口線を2月28日から週3便で新規就航すると発表した。今回の就航により、関空発着の中国本土路線は香港、マカオを含め35都市となる。

2月26日 関空連絡橋 4車線での通行確保

国土交通省は、関空連絡橋の4車線での通行確保について、3月7日から実施すると発表した。また、6車線の完全復旧は、4月上旬となる見込み。

3月14日 関空－太原線を就航

中国東方航空は、関空－太原線を3月31日より週3便で新規就航すると発表した。今回の就航により同社は、関空から中国本土へ13路線を運航することとなる。

3月31日 関空－青島線を就航

吉祥航空は、関空－青島線をデイリー便で就航した。今回の就航により同社の関空発着路線は、上海・浦東線、南京線、銀川線に続き4路線目となる。